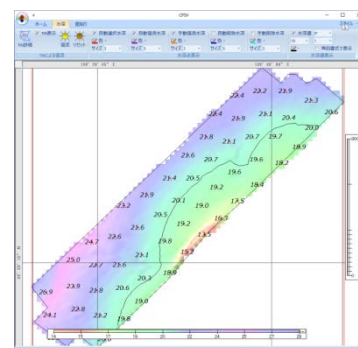


海図用データ調製支援ソフトウェア

OH-CPS



水深、陰影、等深線の重量表示例

図面スケール、図の範囲、図法を設定するだけで、生データから自動的に以下を生成します

- (1) 水深選択 (位置情報付 最浅値グリッド)
- (2) 陰影図
- (3) 等深線図

概要

1. LMD (フル属性) データ読み・選択水深、陰影図等を自動生成

① LMD (フル属性) データの読み込みと以下の自動生成

図上0.1mmおよび1mm間隔のグリッド内最浅値選択水深

図上5mm間隔の選択水深ファイル

陰影図および自動発生等深線図

② 海図画像、SHPファイルの読み込みと背景表示

2. 水深値の編集

水深点の削除と復活を画面上でマウス操作により編集

編集後に、TIN解析でチェック

3. 面切り

測量範囲の面をマウス操作で分けし、最大水深値と最小水深値の属性を付与

編集後に、0.1mm間隔水深でチェック

4. 等深線図作成

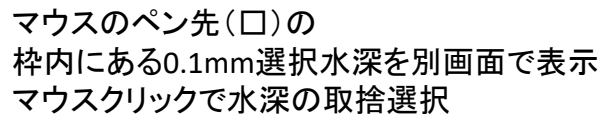
面の境界に線を引き等深線ファイルを生成

5. 仕上げ

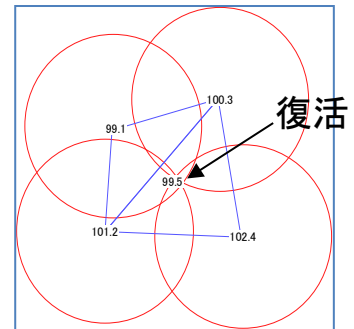
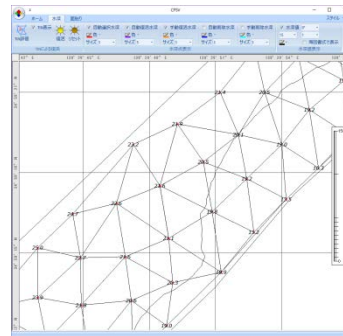
図を仕上げてPDF出力

面情報、線情報、水深値情報をご指定の形式で出力

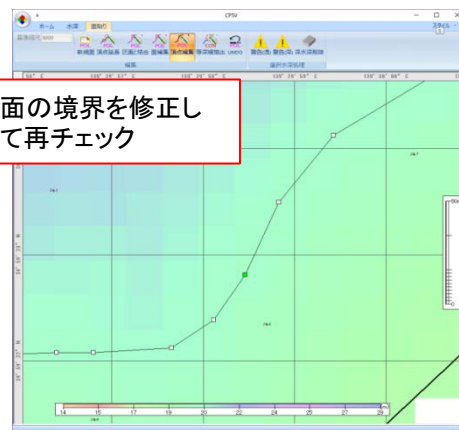
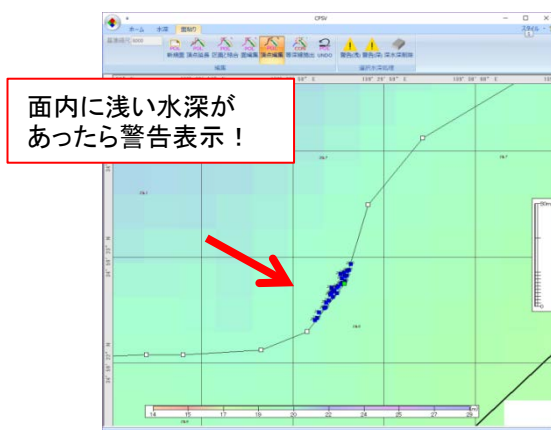




TINによる復活 選択水深でできるTINの内 部にある浅所を復活



陰影図や自動生成した等深線を背景として、選択水深図上に手動で等深線をデジタイズし面貼りデータを作成します。面貼り範囲外に浅い水深があった場合は警告を発生します。面貼り範囲内の深い水深は削除します。



株式会社海洋先端技術研究所
〒164-0012 東京都中野区本町2丁目29番12号
Tel:03-5354-5321 Fax:03-5354-5322
URL:<http://www.ohti.co.jp> Email:service_1@ohti.co.jp